



「DO!」：男女共同参画社会実現のために、職員一人ひとりが考え、そこから一歩進んで「実行する」ことを願って名付けました。

男女共同参画審議会からの提案

1月31日、八潮市男女共同参画審議会から市長に対し、八潮市男女共同参画推進条例に基づいて調査した男女共同参画施策の進捗状況についての意見書が提出されました。



— 意見内容は下記のとおり —

(1) 政策・方針決定過程の場への男女共同参画の促進について

年次報告書によると、審議会等への女性の参画割合は30パーセントを超えて推移しているものの、会長職における女性割合は依然として低いままであり、このような結果をもたらす要因としては、「男性が主、女性が副」といった性別による役割分担意識も影響しているものと考えられます。

このような、無意識の偏ったモノの見方（アンコンシャス・バイアス）を解消するためには、会長職選出にあたっては男女交代制にするなど、ポジティブ・アクションの採用なども含めた積極的な男女共同参画の推進が必要です。

また、市職員の課長級以上に占める女性割合も、県内市町村平均を下回っているため、研修などにより女性のキャリア形成の支援・促進に努めるとともに、性別に関わりなく働きやすい職場環境を整備し、女性職員の活躍の推進に努めていただきたい。

(2) 生涯を通じた健康支援の推進について

女性の心身の状態は、年代によって大きく変化する特性があるため、「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」（性と生殖に関する健康と権利）の視点を持った健康支援が必要です。

「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」には、いつ何人子どもを産むか産まないかを選ぶ自由や、安全で満足のいく性生活、安全な妊娠・出産、子どもが健康に生まれ育つこと、思春期や更年期における健康上の問題など、生涯を通じての性と生殖に関する課題が含まれています。

このことから、「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」の用語と理念を広く市民に周知し、正しく理解していただけるよう広報・啓発普及に力を入れる必要があります。

また、「パパ・ママ学級の開催」に加え、女性に対する適切な医療情報の提供や、避妊や中絶などに関する正しい情報を提供する機会を設けるなどして、精神的・社会的にも良好な状態で生涯を送れるよう、生涯を通じた健康支援に取り組んでいただきたい。

更に、命を大切にすること、自分を大切にすることを取り入れるなど学校教育における協力と理解も不可欠です。

<職員の方へ>

審議会等の委員を選任する際は、男女割合を出来るだけ均等にし、会長職への女性登用についても積極的に行ってください。また、関係各課は「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」の用語と理念の周知及び施策の展開に取り組んでください。

(☆ 本提案書は、2月2日開催「男女共同参画庁内推進会議」において、各部局長へ報告しています。)

職員研修「LGBTQの基礎知識」終了



1月27日（金）、男女共同参画職員研修「LGBTQの基礎知識」を開催しました。（講師：レインボーさいたまの会 佐々木りん氏）

講義や質疑応答内容のほんの一部をご紹介します。

☆LGBTQの方は何人位いますか？

人口の約5%程度と考えています。（民間団体の調査では8～10%とも言われています）
八潮市人口で計算すれば4,616人になります。これは日本人の苗字、佐藤・鈴木・高橋・田中さんの合計割合と同じであることから、とても身近なことなのだとと言えます。

☆LGBTQ、困難の特徴は？

目に見えない / 地縁・血縁など周囲の人に頼れない / 心の性と異なる「らしさ」を求められる など。
このようなことから、偏見やいじめ、就職・昇進差別、解雇、医療、介護などさまざまな生活の場での困難が生じています。

☆健康診断において、トランスジェンダーの方への配慮や注意はありますか？

健康診断においては、その目的に応じた配慮をお願いします。
身体健康診断であれば、身体の性に合わせた診察が必要です。健康を守るためにも、正確な身体の状態を話してほしい旨を伝えて、正しい健康状態の把握に努めてください。
なお、更衣室等を個別にするなどの配慮は必要です。

☆当課窓口では、家族関係を何う必要が生じることがあります。配慮すべき事項はありますか？

家族関係を何うときは、家族の関係を決めつけないことが重要です。
同性カップルの役割を固定的な夫婦の役割に当てはめたりせず、家族の形はさまざまであることを念頭に置いて話を進めましょう。

※八潮市はR4.4.1から、「八潮市パートナーシップ宣誓制度」を開始しました！

（キャビネット：電子キャビネット/市長部局/企画財政部/人権・男女共同参画課）